

# チャプレンだより 12

2025年3月号

チャプレン 主教アンデレ大畑喜道

## 今月の聖句

わたしはぶどうの木 あなたがたはその枝である。

ヨハネによる福音書 15章5節

早いものでもう三月です。ちゅーりっぷ組の子どもたちはもうすぐ一年生ですね。これからも幼稚園の時にしていた礼拝の時間を覚え続けていて欲しいと思います。ことに今月の聖句はこれからの生活の中でもしっかりと覚えていて貰いたいです。

さてこの話はイエスのお弟子さんに向けて語られたものですが、どんな状況だったのでしょうか。イエスはわたしたちの罪をすべて担って十字架の道を歩み、死んで葬られました。その後、三日後に復活します。この復活こそキリスト教のもっとも大切な出来事です。神はわたしたちを大切に思い、それは何かできるからあなたは良い、あなたは神も信じない、悪いことも続けているから助けてやらないなどと区別することなく、全ての人が救われて、いつも互いに大切にし合い、支え合い、笑顔で生きて欲しいと願っています。神と離れて自分勝手に生活して、空しい思いをしないように、借金があったら大変というので、わたしたちの支払うべき借金を、神自らが独り子を差し出すということで帳消しにしてくださいました。キリストを信じるということはそんな大きな恵みに感謝して、神が求めるような生き方

をしていきますということです。イエスが十字架に架かる前後は四つの福音書はかなりのスペースを割いて伝えています。木曜日の晩に弟子たちと最期の晩餐を開きます。その場面は多くの画家が描いています。有名なものは絵画になっています。その後、祈りの時間を持っていたイエスはローマの兵隊に捕縛されて、夜通し裁判が行なわれて、金曜日の午前中に十字架に架けられます。最期の晩餐が行なわれた後、弟子たちに語られた教えです。最期の晩餐で仕える者になれと、愛し合いなさいと教えた上で重ねて説教しました。イエスという木から離れてしまったら、あなたたちは何もできない、実を結ぶことができない。わたしたちは自分では何もできない、実を結ぶことができない弱い者であり、神を忘れて自分で何もかもできると勘違いをしている者（このような状態の人を聖書は罪人だと表現します。的外れな生活しかできない者を罪人と訳したのです）である私たちが、イエスというぶどうの木につながっていることによって豊かに実を結ぶ者とされている、それがイエスを信じる者に与えられている恵みです。またここには、イエスというぶどうの木に、「あなたがた」という複数の枝が共につながっています。そしてそれぞれの枝が実を結んでいく、ということが語られています。様々な異なった枝たちが、イエスというぶどうの木につながっていることによって実を結ぶ、そ

のようにして、このぶどうの木に豊かな実が実るのです。イエスを中心とする一つの群れ、共同体を造り上げていって欲しい。それがイエスが弟子たちに願ったことです。イエスというぶどうの木である共同体。その共同体が神の国だということです。それをこの世界に可視化するのが教会です。実際そうなっているかどうかは疑問ですが、それを目指していることは信じてください。

現在イエスのお姿をこの目で見ることができません。イエスの十字架と復活による救いの目に見える証拠はありません。しかしキリスト教会はそれを信じています。イエスを信じて生きている私たちに、イエスはあなたがたはもう私というぶどうの木の枝となっているのだ、と語り掛けます。あなたがたがこれから努力してこういう人になれば、このような善い行いができるようになれば、これくらい信仰の深い人になれば、私のぶどうの木の枝となることができる、と言っています。あなたがたみんなは既に私に繋がっている枝であり、それによって実を結ぶことができる者となっているのだ、とイエスは宣言しているのです。だからイエスを信じて歩むことを諦めずに生きなさいと勧め励ましているのです。ヨハネ福音書が書かれた時代は紀元100年くらいだと言われています。イエスの宣教の初めから考えて70年余。キリスト教が成長して地中海沿岸の多くの所に広まっています。同時に教会に対する迫害も起こってきています。信仰者たちは人々の無理解や迫害に耐えて信仰を守っていかねばなりません。多くの人が信仰を捨てました。そんな

状況でもイエスを信じる人をヨハネは福音書を通して励ましているのです。

さて迫害もない今日、イエスはわたしたちにしっかりと繋がってどんな実をつけろというのでしょうか。具体的にはどうしろというのでしょうか。常に神に信頼をおいて、神が求めるような自分を大切にするように、それ以上に自分以外の人を大切にするような社会の建設を求めているのです。子どもたちは将来、成長していったときに、人を押しつけ、踏みつけにして、誰が泣いていようが、悲しんでいようが、自分と自分の大切にしている者だけが良ければ良い。今、踏みつけにされている、辛い思いをしているのは自己責任だと大人だけにはなって欲しくありません。イエスとの関わりを大切に、人びとを愛する実をこの世界にばらまいてくれる人に成長して貰いたいと願っています。



### チャレンと話そう

毎週月曜日 9時半から 10時

特に決まったテーマはありませんが、子育てのこと、キリスト教のこと、幼児教育のこと何でも構いません。皆さんの参加をお待ちしています。